

遊ゆう 宣げん社しゃは、演えん出しゅつ家か・関せき矢き幸こう雄し氏しのもとで、舞ぶ台たい劇げきやミュージカルに取り組とんできた俳はい優ゆうとスタッフが
新あらたな演えん劇げき創そう造ぞうの可か能のう性せいを求もとめて、1994年ねんに設せつ立りつした演えん劇げき集しゅう団だんです。ジャンルや形けい式しき、観かん客きゃくの年ねん齢れい層そう
にもこたわらない自じ由ゆうな発はつ想しやうの舞ぶ台たい創そうりを目め指さしています。また、演えん劇げきの最さい大だいの魅み力りきは『生なま』であるとの
考かんえから、俳はい優ゆうの身しん体たいと声こゑの表ひょう現げんを最さい重じゅう要よう視し、音おん響きやう機き材ざいを一いっ切さつ使つかわな音おん楽がく劇げきに取り組とんでいます。



1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

演劇集団 遊玄社
《ミュージカル公演》

おん 音 がく 楽 げき 劇

イ・ハ・フ・ランドの どうぶつ 動物たち



我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前じぜんのワークショップでは、子供こどもたちに実演指導じつえん しどうまたは鑑賞指導かんしょう しどうを行います。また、実演じつえんでは、できるだけ子供たちにも参加さんかしてもらいます。



●この劇に出演する俳優と役柄●

あか ば ひろゆき 赤羽弘行	キツネ、ウサギ、カエル	ほか
くわがきみちひろ 桑垣紀彦	カニのお父さん、カエル	ほか
ひらやませいいち 平山盛一	オンドリ、羊番、カエル	ほか
まをみおる 間辺 稔	アフリカンドラム、マリンバ演奏	ほか
や だ ひであき 矢田秀明	カラス、カメ、カエル	ほか
やない まんじろう 柳井萬治郎	ライオン、キリギリス	ほか
ま わたり ち はる 馬渡千春	ネズミ、カニの子ども	ほか
やすい きく こ 安井希久子	ジャンベ演奏	ほか
わたなべひろみ	アリ、ヒツジ	ほか

●この劇を作った人たち●

げんさく げき 原作（劇のもととなる話をつくった人）	いそつぷ イソップ
こうせい えんしゅつ 構成・演出（せりふや俳優の動きをつくった人）	せき や ゆき お 関矢幸雄
おんがく きょく 音楽（曲をつくったり、演奏や歌の指導をした人）	てんぱ・たな テンバ・タナ
びじゅつ ぶたい そうち 美術（舞台の装置をデザインした人）	なか ち さとし 中地 智
しょうめい ぶたい しょうめい 照明（舞台の照明のあてかたをデザインした人）	さく ま きよし 佐久間巨 照
えんしゅつ ぽ 演出補（演出をたすけた人）	はな わ みつる 花輪 充
せいさく げき きかく 制作（劇を企画した人）	た な べ け い い ち 田辺慶一
演劇 遊玄社 〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目4番2号 TEL.03-3369-4319 E-mail：tc@yugensha.co.jp	

げき 劇について……………

「音楽劇・イソップランドの動物たち」は、日本でも古くから知られているイソップ物語のたくさんの話の中から、8本を選んで音楽劇にしたものです。音楽は南アフリカ共和国出身（現在はカナダに住んでいます）の民族音楽家テンバ・タナさんが担当しました。アフリカの人たちが作っためずらしい楽器を使い、出演者がすべての音楽を舞台の上で演奏し、歌います。曲目は南アフリカ、ナミビア、マラウイ、ジンバブエ、モザンビークなど、アフリカ南部の国に昔から伝わる仕事の歌、子守歌、それにわらべ歌などです。



ものがたり

◆ライオンとネズミ

ライオンが昼寝をしていると、小さなネズミがぶつかりました。ライオンはネズミをつかまえると、すぐに食べしまおうとします。ところが――

◆キツネとカラス

カラスがチーズをくわえて、高い木の上で休んでいるところへキツネがやってきて――

◆犬とオンドリとキツネ

犬とオンドリが仲良しになり、いっしょに旅に出ました。夜になり、オンドリは木の上で、犬は門番のために根もとの穴で寝ました。夜明け近くになり、オンドリがいつものように「コケコッコー!」と時を告げたので、ニワトリが大好物のキツネに見つかってしまいます――

◆カニのおやこ

カニの親子がいました。お父さんがニは、子どものカニが横にしか歩かないのを見て、怒りだしますが――

◆アリとキリギリス

夏の間は働かないで遊んでばかりいたキリギリスが、冬が近づき食べ物もすっかりなくなり、働きもののアリの家をたずねますが――

◆オオカミと羊番の少年

羊番の少年が村の人たちにいたずらをしてやろうと、オオカミが出たとうそをつきます。なんどもなんどもうそをついているうちに――

◆ウサギとカメ

うまれつき足の速いウサギと、足のおそいカメが競走をすることになりました――

◆王様を欲しがったカエルたち

よごれた池に住むカエルたちのお話です。きれいで住みやすい池にしてもらうために、りっぱな王様をさずけてくださいと、神様にたのみますが――

この劇でうたわれる主な歌

「イソップランドの動物広場」

さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
笑い声 こだます イソップランドの広場
ほら見えてくるよ たいせつなものが
やさしい心と あふれる笑顔
さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
笑い声 こだます イソップランドの広場



「イソップランドの動物たち」

（原曲：CHENGA MIRA）

CHENGA MIRA HIZOSITORA USISEE
NKULULEKWENI
意味(友だちはいのちと同じ みんないっしょに きてごらんみんなで しあわせもちよう)
CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
(友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
(友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
イソップランドの動物の話は そんなにむかしの遠い話じゃない
ほら いつでもある どこでもある そんな話
今日の話 パパの話 ママの話 ゴミの話 ぼくの話

この劇で使われるアフリカの楽器

●ジャンベ (Zimbe)

西アフリカでよく使われるたいこです。大きなさかずきのような形のおかげで、低音から高音までいろいろな音色が奏でられます。

●アベンテマ (Appentema)

アフリカ南部で使われているたいこで、一本の木をくりぬいて胴を作ります。スプリングボックなどの野生の鹿の皮を張ります。

●マリンバ (Marimba)

アフリカの木琴です。ムクワというかたい木で鍵盤を作り、ひょうたんを下につけて音を大きくします。この劇で使われているものは、ジンバブエ第二の都市ブラワヨの楽器屋さんに作ってもらったものもあり、それには、ひょうたんのかわりにプラスチックの管が使われています。

●ンビラ (Mbira)

英語でフィンガー・ピアノ（指ピアノ）と呼ばれています。アフリカの代ひょうてきな楽器の一つです。板の上に取りつけられた金属の鍵を親指と人さし指ではじいて演奏します。

●カバサ (Kabassa)

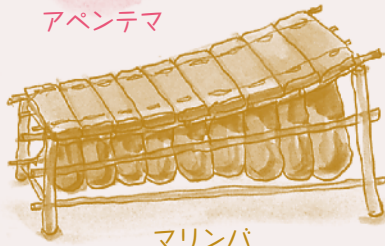
ひょうたんにじゅう玉をぬいこんだ網をかぶせてあります。マラカスのもとになった楽器です。

●カンコグイ (Kankogui)

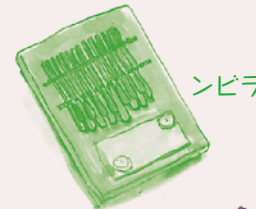
英語ではカウ・ベルといい、牛の首につける鐘のことです。棒でたたいてリズムをとる楽器です。



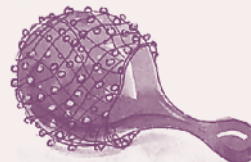
アベンテマ



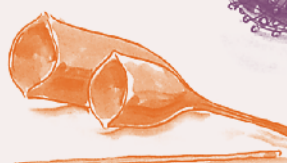
マリンバ



ンビラ



カバサ



カンコグイ